

平成25年10月1日
石川県教育委員会事務局
文化財課庶務・文化財管理G
担当者 柿崎、京正
内線 5634
直通 225-1841

「第60回日本伝統工芸展金沢展」の開催及び
関連行事の実施等について

第60回日本伝統工芸展金沢展を10月25日（金）から11月3日（日）までの10日間にわたり県立美術館で開催します。また、当該期間前又は期間中に、伝統工芸の理解と興味を深めるための関連行事を実施します。

1 第60回日本伝統工芸展金沢展

(1) 目的

伝統工芸技術を保護育成するため文化財保護強調週間にあわせ、展覧会を開催し、作品の公開鑑賞を通じて県民の伝統工芸に対する理解の増進に寄与する。

(2) 主催

日本伝統工芸展金沢展実行委員会（事務局：文化財課）

(3) 会期

平成25年10月25日（金）～11月3日（日）〔10日間〕

※詳細につきましては、別添のチラシをご参照ください。

2 関連行事

(1) 講演会

日本伝統工芸展の第60回展を記念し講演会を実施する。

日時（場所）	講師（演題）	司会進行
10月27日（日） 13:30~ （県立美術館ホール）	石川県・富山県在住の重要無形文化財保持者 10名 （「人間国宝が語る日本伝統工芸展60回とこれから」）	県立美術館長 嶋崎 丞

(2) こども工房見学

児童が人間国宝の工房を訪れ、作品の制作現場を見学し、実際に制作体験を行うことにより、伝統工芸に対する理解を深める。

日時 (場所)	講師	参加者
10月3日(木) 9:30~11:30 川北工房 加賀市山中温泉上原町ヨ 320-1	かわざたりょうぞう 川北良造氏 (木工芸)	かわみなみ 加賀市立河南小学校 28名(6年生)
10月11日(金) 9:30~11:30 錦山窯 小松市高堂町ト 18	よしたみのり 吉田美統氏 (陶芸)	あらかや 小松市立荒屋小学校 21名(4年生)

(3) こども金工教室

加賀象嵌の技法を使い、キーホルダーを作成する。

日時 (場所)	講師	参加者
10月20日(日) 13:30~16:00 (県立美術館講義室)	むらかみこうどう 村上浩堂氏 (日本工芸会石川支部金工部会長) ほか	30名 (小学5年生~高校3年生)

(4) 人間国宝の学校招待講座

県立美術館に児童・生徒を招いて、人間国宝が自身の体験談や伝統工芸の世界について、分かりやすく説明するとともに展示作品の解説を行う。

日時 (場所)	講師	参加者
10月28日(月) 9:30~11:30 (県立美術館ホール)	ふたつかおさお 二塚長生氏 (友禅)	ぬか 金沢市立額小学校 91名(4年生)
10月28日(月) 13:40~15:30 (県立美術館ホール)	はいそとたつお 灰外達夫氏 (木竹工)	県立工業高校 116名(工芸科1~3年生)
10月29日(火) 9:30~11:40 (県立美術館ホール)	なかがわ まもる 中川 衛氏 (彫金)	あさのがわ 金沢市立浅野川小学校 64名(4年生)
11月1日(金) 13:40~15:40 (県立美術館ホール)	なかのこういち 中野孝一氏 (蒔絵)	こだつの 金沢市立小立野小学校 93名(6年生)

第60回 日本伝統工芸展

— わが国の最高水準の伝統工芸358点を一堂に展示 —

平成25年 **10月25日(金)~11月3日(日・祝)**

■午前9時30分~午後6時(入場は午後5時30分まで) ただし、最終日(3日)は午後5時まで(入場は午後4時30分まで) **会期中無休**

◆主催 石川県教育委員会・日本放送協会金沢放送局・朝日新聞社・北國新聞社・日本工芸会 ◆後援 文化庁・富山県教育委員会・福井県教育委員会



日本工芸会総裁賞 《柘造器》中嶋 武仁(石川)



文部科学大臣賞 《沈金箱「忍冬」》西 勝廣(石川)



日本工芸会新人賞 《乾漆蓋物「夕風」》山田 勘太(石川)



NHK会長賞 《流水文四方釜》晶 春齋(富山)



第60回展記念賞 《象嵌花器「芽吹き」》村上 浩堂(石川)



日本工芸会奨励賞 《蒔絵箱「水面」》寺西 松太(石川)

観覧料

一般 600(500)円

大学生 400(300)円

高校生以下無料

※()内は20名以上の団体料金

講演会

■演 題 「人間国宝が語る日本伝統工芸展60回とこれから」

■司会進行 嶋崎 丞(石川県立美術館長)

■講 師	川北 良造氏(重要無形文化財「木工芸」保持者)	中川 衛氏(重要無形文化財「彫金」保持者)	中野 孝一氏(重要無形文化財「蒔絵」保持者)
	前 史雄氏(重要無形文化財「沈金」保持者)	大澤 光民氏(重要無形文化財「鍍金」保持者)	灰外 達夫氏(重要無形文化財「木工芸」保持者)
	吉田 美統氏(重要無形文化財「軸裏金彩」保持者)	小森 邦衛氏(重要無形文化財「髹漆」保持者)	
	三代 魚住 為楽氏(重要無形文化財「銅鑼」保持者)	二塚 長生氏(重要無形文化財「友禅」保持者)	

■日 時 10月27日(日) 午後1時30分~

■会 場 美術館ホール

聴講無料

Ishikawa Prefectural Museum of Art
石川県立美術館

日本伝統 工芸展

わが国の最高水準の
伝統工芸358点を一堂に展示

主旨

我が国は、四季の気候条件に恵まれ、多様な自然環境を形成し、またその中で各地の風土に根ざした工芸品を生み出し、世界に誇る伝統工芸の盛んな国として知られています。

本展は、この優れた伝統技術の保護と後継者の育成、ならびに伝統工芸に対する普及を目的として開催しているもので、文化財保護法の趣旨にそって昭和29年に第1回展を開いてから、今年で60回を数えます。

今回は、陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門の入選作品616点の内から、重要無形文化財保持者(人間国宝)や受賞者等の秀作、地元北陸の作家を中心とした入選作品など358点を展示します。伝統工芸の最高水準の公募展からは、時を越えて伝えられるべき傑作の数々が毎年輩出されています。この機会に、どうぞご鑑賞下さい。

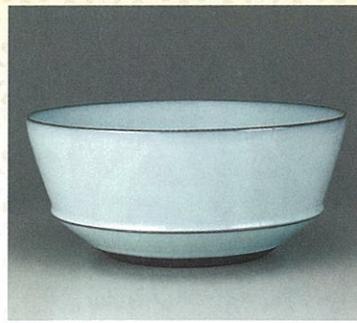
◆主な出品作家(北陸関係)◆

陶芸	吉田 美統(重) 中田 一於(特)	金工	三代 魚住 為楽(重) 中川 衛(重) 大澤 光民(重)
染織	二塚 長生(重)	木竹工	川北 良造(重) 灰外 達夫(重) 川北 浩彦(特)
漆芸	前 史雄(重) 小森 邦衛(重) 中野 孝一(重) 市島 桜魚(特)		

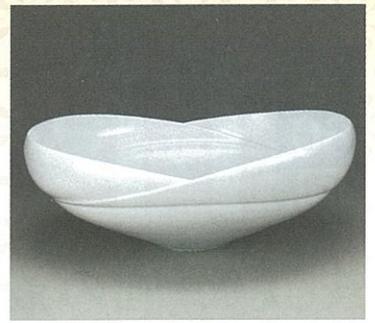
※重=重要無形文化財保持者
※特=特待者

◆展示作品解説◆

日時	11:00~	13:30~
10/26(土)	《漆芸》市島 桜魚	《陶芸》宮西 篤士
27(日)	《金工》大澤 光民	講演会
28(月)	《金工》中川 衛	《染織》二塚 長生
29(火)	《陶芸》中田 一於	《漆芸》前 史雄
30(水)	《人形》紺谷 力	《木竹工》川北 良造
31(木)	—	—
11/1(金)	《木竹工》水上 隆志	《染織》坂口 幸市
2(土)	《木竹工》灰外 達夫	《漆芸》小森 邦衛
3(日・祝)	《陶芸》武腰 潤	石川県立美術館長 嶋崎 丞



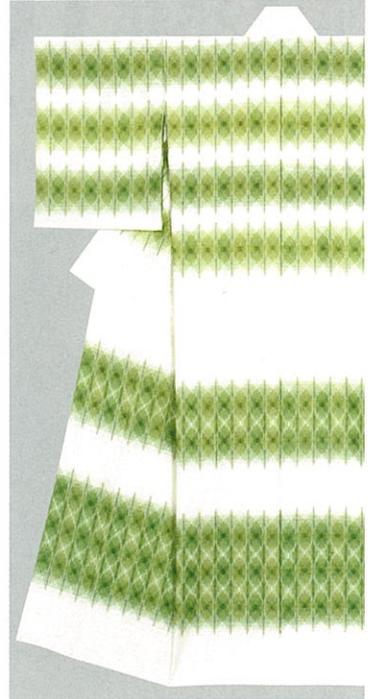
高松宮記念賞
なかのげぼくじふかばち ふくしま ぜんぞう
《中野月白瓷深鉢》 福島 善三(福岡)



東京都知事賞
はくじはち なかむら せいご
《白磁鉢》 中村 清吾(佐賀)



朝日新聞社賞
かんしつさん まほご 「まいそう」 やぶうち えみ
《乾漆蒔番箱「味爽」》 藪内 江美(香川)



日本工芸会会長賞
あやおりかすりきもの「はんげしよ」 こんどう よしえ
《綾織拵着物「半夏生」》 近藤 好江(千葉)



第60回展記念賞
えど こもん きんじやく「しちさんひだりたづな」 あいだ まさお
《江戸小紋着尺「七三左手綱」》 藍田 正雄(群馬)



日本工芸会保持者賞
らんたいきんましゅうにかくしきょう「ちようどんぼ」 おねたに ほやと
《藍胎蒔盞十二角食籠「蝶蜻蛉」》 大谷 早人(香川)



第60回展記念賞
はなかご 「せんしよ」 きべ せいほう
《花籃「残照」》 岐部 笙芳(大分)

【交通アクセスのご案内】

[バス]
JR金沢駅東口バス
「城下まち金沢周遊号」で
広坂(石浦神社前)下車、
徒歩5分

[タクシー]
JR金沢駅から約15分

[自家用車]
北陸自動車道金沢西インター
または
森本インターから20~30分



テレビ放映
予定
(NHK総合)

金とく 北陸スペシャル「第60回日本伝統工芸展金沢展」(仮)
平成25年10月25日(金)午後8時~8時43分
(石川県・富山県・福井県で放送)
(再)平成25年10月26日(土)午前10時05分~10時48分
(石川県で放送)

Ishikawa Prefectural Museum of Art
石川県立美術館

〒920-0963 金沢市出羽町2-1 TEL 076-231-7580
URL <http://www.ishibi.pref.ishikawa.jp>